



# 生きがいの仕組みづくり



松本市では、「健康寿命延伸都市・松本」を基本理念とした「生きがいの仕組みづくり」を進めています。今回は、現在市内7会場で実施されている「子どもの居場所づくり推進事業」の取り組みのうち、庄内地区で「なみカフェ」を運営している、並柳団地の青木町会長に、お話を伺いました。

## 🏠 「住んでいて良かった」まちを目指して 🏠

※「なみカフェ」の関連記事は、5ページに掲載

### 🔪 「なみカフェ」を始めたきっかけは

地域の子どもたちが健やかに育つための取り組みをしたいと思い、並柳団地プロジェクトの一環として始めました。3年前に県の事業として始まり、現在は、市のこども福祉課の「子どもの居場所づくり推進事業」として行っています。

また、インターンや大学生が関わってくれています。運営として助かっているだけでなく、子どもたちにとっては、「お兄ちゃんお姉ちゃんの愛情」のようなものを感じてもらえているんじゃないかなと思います。

### 🔪 活動を通して感じることは

最初は、2、3人しかいなかった子どもたちが、今は20人ほどに増えました。

多くの子どもと触れ合う中で、一人一人の表情の変化に驚いています。最初は険しい表情だった子どもが、

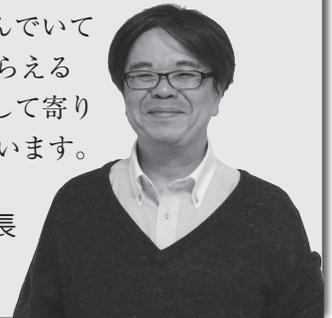


回を追うごとに、明るい表情になっていきました。このことは、私だけでなく地域としてもやりがいに感じていることです。

### 🔪 今後は

「なみカフェ」は、ここに携わるみんなで作っているものなので、ゴールはないですが、これからも、地域の子どもたちが望むことはできるだけ取り入れていきたいと思っています。

そして、子どもたちが大きくなった時に、「このまちに住んでいて良かったな」と思ってもらえるよう、これからも地域として寄り添っていききたいと思っています。



並柳団地町会 町会長  
青木 健太 さん

## 広報まつもと

### クイズ&アンケート

ラーラ松本入場券 ペア5組  
※正解者の中から抽選でプレゼント

皆さんの声をお寄せください! ※クイズ&アンケートは今後不定期で実施予定

#### 特集クイズ

松本市の子どもたちが主体となって活動する組織名は? まつもと子ども〇〇委員会

#### アンケート

- Q1 興味を持った記事とその感想
- Q2 今後取りあげてほしい内容等
- Q3 『広報まつもと』に関するご意見・ご感想

#### 応募方法

8月20日(月)必着で、①答え(〇に当てはまる文字) ②アンケートQ1~Q3 ③住所 ④氏名 ⑤年代 ⑥電話番号をご記入の上、官製はがき(〒390-8620 丸の内3番7号 広報課宛)または、ながの電子申請サービス(右コード)からご応募ください。抽選結果はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



松本市の人口 ● 239,767人 <男117,441人 女122,326人> 世帯数105,140世帯 ● 30年7月1日現在

私たちは、患者さん中心の医療を、高度な専門技術を生かしながら地域の皆様に提供していきます。



#### 関連事業

- 丸の内病院健診センター ●丸の内訪問看護ステーション
- 丸の内居宅介護支援センター ●丸の内ヘルパーステーション「ほほえみ」
- サービス付高齢者向け住宅「リバーサイドまるのうち」
- リハビリ専門デイサービス「常念望」 ●小規模多機能型居宅介護施設「四季の風」
- 地域密着型特定施設入居者介護施設「まるのうちラクシア」
- 丸の内病院病児保育施設「わかば」 ●丸の内病院メディカルフィットネス「リベリ」

社会医療法人 抱生会

**丸の内病院**

松本市渚1-7-45  
TEL.0263-28-3003(代)  
http://www.marunouchi.or.jp